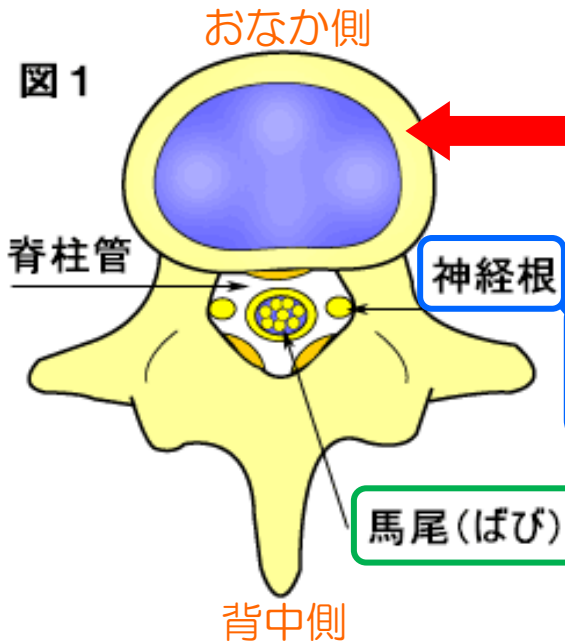


腰、痛くないですか？

Vol. 4 脊柱管狭窄症について

脊柱管狭窄症（きょうさくしょう）とは、脊髓の通り道が狭くなった状態で、間欠跛行（かんけつはこう）と呼ばれる特徴的な症状が見られます。脊柱管狭窄症は中高年に起こりやすく、原因となる病気には色々あります。



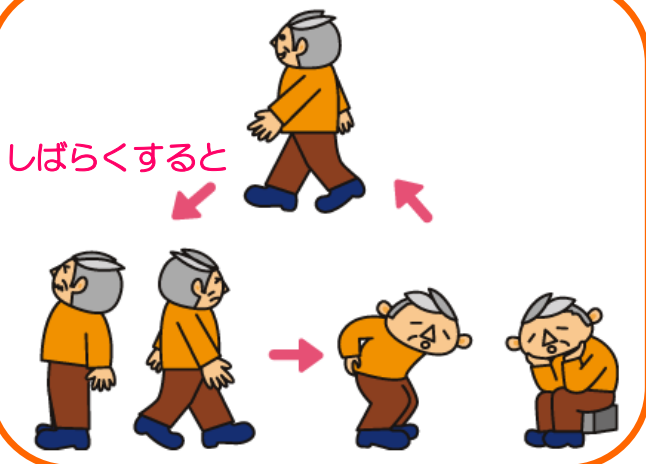
- 変形性脊髄症
 - 変性すべり症
 - 脊柱変性側弯症
 - 脊柱靱帯骨化症
- など脊柱や椎骨に変形などが起こる

この神経根が障害を受けると、腰から脚にかけての痛みやしびれが現れます。

脚やお尻のしびれ、排尿・便障害が起こると言われています。

間欠跛行とは…

左図にもある通り、歩いている途中で脚に痛みやしびれが起こって歩けなくなり、前かがみになったり暫く休んでいると、再び歩けるようになる状態を指します。



こんな
症状に注意

腰痛

下記のうち、1つでも当てはまる場合、
脊柱管狭窄症の可能性が高いです

- ✓ 痛みやしびれなどの症状がある
- ✓ おじぎをすると痛みが和らぎ、体を反らせると痛みが強まる
- ✓ 間欠跛行が起こる

